

Ⅰ 学期終業式「校長講話」

校長 寺本 圭一

- ・ みなさん、おはようございます。
- ・ 今年度は、新型コロナウイルスの感染状況も少し落ち着いていたため、Ⅰ学期はおおむね通常の教育活動を実施することができました。6月の体育大会も、皆さんの感想を見ると、応援合戦やフォークダンスが再開できてよかった、楽しかった、という意見が多かったですが、中には、応援合戦の採点基準や練習時間の少ないことに不満を持っているという意見もありました。そういう意見も皆さんが一生懸命取り組んだからこそ感じた意見だと思います。中には、「私一人がこんな意見を書いても先生には届かないし、仕方がないと思いますが…」といった感想もありましたが、それらの意見を先生方は読んでいますし、間違いなく、すべて届いています。それらの意見を参考に検討していきます。
- ・ (生徒表彰)
- ・ さて、今日の話をする前に、まずは、東高校の生徒に対する外部からの声を紹介します。まず、「残念な声」からです。
- ・ まずは、「電車内で、大声で喋ってうるさい」という声。もう一つは「歩道が狭いのに、集団や横並びで歩くので困っています」という声。それぞれ事情があるかもしれないけど、やはり制服で学校ひとくりに評価されるのが常なので、特に集団で行動するときは周りや相手への気遣いが大切です。
- ・ 一方で、嬉しい声もありました。「先日、京橋駅で倒れた高齢者に3名の男子生徒が寄り添い、助けてくれました」というもので、近くにいた方から、丁寧なお礼の電話をいただきました。人助けというのは、助けたいと思っていてもなかなか行動に移せるものではありません。非常に勇気ある行動だと思います。
- ・ では、本日のテーマは「ポジティブ思考」です。3年生は大学入試や就職試験にむけてモチベーションを上げていく時期でもあるので、少しでも皆さんがポジティブな思考になれるような話をしたいと思います。
- ・ 要は「モノの考え方」ということですが、例えば、次の時、あなたはどのように考えますか？クラス替えて、自分だけが仲の良かった友人たちと離れてしまったとき。「あーあ、なんで自分だけ。いやや。おもんない、やる気ない」と思うと思います。それはよくわかりますが、非常に冷たい言い方をすると、言ってもどうにもならないことです。
- ・ そこで、「ポジティブ思考は、前を向きます」例えば、「新しい友人ができる」と喜ぶ」または、友人関係はそのまま続けて「一人の時間ができる」と考えます。少なくともずっと落ち込んでいるよりは、プラスに働きます。
- ・ また、例えば、期末テストで欠点を取ってしまい、次の日に部活動の試合で、自分がミスをして負けてしまった。こういう時、ついつい結び付けて「あーあ、俺って、私って駄目だ、と落ち込む。
- ・ でも、冷静に考えれば、期末テストの点数と試合でのミスは全く関係ないことですよね。「ポジティブ思考は、冷静に心配の原因を分析して、次のことに集中します」「次は同じ

失敗をしない」逆に「次はこうすれば成功する」と集中できます。

- ・ところで、「劣等感」って何ですか？自分の苦手なこと、自信がないことは何でしょう？容姿や声、スポーツに勉強、人前で話すこと等々、人によって様々ですし、誰にでもあるます。劣等感のない人はあとで校長室にぜひ来てください。ゆっくり話したいと思います。
- ・「ポジティブ思考でいうと、実は『劣等感』があるからこそ頑張れるんです」「劣等感をバネにして頑張るんです」。実は「劣等感」そのものが問題ではなく、「劣等コンプレックス」というのに問題があるということです。
- ・「劣等コンプレックス」とは、「劣等感」そのものではなく、苦手なことから避けようとする気持ちや態度のことです。すでに気づいている先生もいるかもしれませんが、これは、心理学者であるアルフレッド・アドラーの考え方です。
- ・「劣等コンプレックス」を持っているネガティブ思考の人の口癖は「どうせ無理」「めんどくさい」「最悪」「できるわけがない」「イライラする」「もうだめ」「私一人が頑張っても無駄」といったまさにネガティブな発言です。
- ・皆さんは「ハチドリの一と一ずく」という絵本を知っていますか。「自分のできることをやる」というハチドリの話です。また、調べて読んでください。
- ・関連した話で、もう一つ、皆さんは「リベロ」って知ってますか？バレーボールで、サーブもアタックも打てない守備専門の選手です。1998年に正式に導入されたので、まだ24年しか経っていません。ネットのある身長の高い選手が圧倒的に有利なスポーツで、なぜリベロが必要なのでしょう。どんなメリットがあるのでしょうか。調べたところ、たくさんさんのメリットがあるようです。その一つは、身長の高い選手でも活躍で気宇ということ。また、リベロのような守備専門の選手がいることで、他の選手の負担が減るというメリットもあるそうです。その他にもたくさんさんのメリットがあるようですが、ここでは省きます。何が言いたいかというと、これも、苦手があっても、得意を生かすというポジティブ思考だということです。
- ・さて、ポジティブ思考がよいといっても、「楽天主義」と「楽観主義」はどう違うのでしょうか。「楽天主義」は、時の流れに身を任せ、なんの根拠もなく、何とかなると思っている人で、「楽観主義」は、課題に対して、これだけやれば大丈夫と、先を見据えて計画ができています。
- ・色々話しましたが、「ポジティブ思考」は、「こう考えなければならない」というものではなく、「こんなふうに考えられたら、人生もう少しまく生きられるよね」という感じで、心に留めておいてほしいと思っています。
- ・河合塾の方と話した、「受験の話」
 - ① 浪人生（ライバル）が減る話
 - ② 後期試験は欠席者が多いという話
 - ③ 現役背の勉強の伸び率は直線ではなく、曲線で伸びるという話。
- ・では、明日から、コロナには十分気を付けて、つらい勉強も、しんどい部活も、「ポジティブ思考」で、楽しく、明るく、前向きに！充実した毎日を過ごしてください。以上です。